

平成27年度

事業報告書

社会福祉法人船橋市社会福祉協議会

事 業 報 告

船橋市社会福祉協議会（以下「市社協」）では、住民が安心して暮らすことができる地域が求められるなか、住民相互のつながりや支え合いによる福祉のまちづくりに向け、各事業の推進に努めました。

本年度最終年となります『第2次船橋市地域福祉活動計画』に基づき「誰もが自分らしく安心して暮らせる福祉のまちづくり(地域づくり)」を目指し、地域で具体的に実行できるよう推進に努めました。

また、平成28年度から実施いたします『第3次船橋市地域福祉活動計画』を策定いたしました。

東日本大震災から5年を迎えましたが、本市においては東日本大震災を教訓にボランティアセンターの充実を図るとともに関係行政や関係ボランティア及び西部ブロック地区社会福祉協議会（以下「地区社協」）と協力し「災害ボランティアセンター立ち上げ訓練」を教育センターで行いました。

また、災害時や緊急時の対応を図るべく、「安心登録カード事業」と「災害時要援護者避難支援事業」の連携を図るために、市社協と地区社協はもとより地域の町会・自治会、民生児童委員及び各関係団体などと連携・協働し、要援護者の支援対策としてハガキによる安否確認や見守り活動の推進に努めました。

新たな受託事業として、高齢者になっても住み慣れた地域で安心して暮らせることを目指し、生活支援を促進するため地域での支え合いの体制を作るため、生活支援コーディネーターを昨年12月に5地区社協に配置した。

市社協の運営基盤強化を図る上での自主財源確保として、会費(賛助・特別・法人・団体)の増強や自動販売機(飲料水等)設置業者の入札を行い収益の増額に努めました。また、馬込斎場売店運営に伴う収益の増強を目指してきましたが、家族葬の増加により収益が目標額を下回る結果となっておりますが、職員の削減を行い対応いたしました。

市社協の自主事業であります「福祉銀行の貸付」や千葉県社会福祉協議会が実施主

体の総合支援資金等の「生活福祉資金の貸付事業」については、離職等の生活困窮者への支援を行ってまいりました。

さらに高齢者等の「日常生活自立支援事業(地域福祉権利擁護事業)」の利用促進の周知に努めた結果、利用者が増えております。また、成年後見制度利用支援事業の実施を見据えて、市民成年後見人養成講座を開催しました。

指定管理者として、2館(中央・南)の「老人福祉センターの管理運営」を行っておりますが、利用者に喜ばれる施設を目指し管理運営を行いました。

なお、「一般貸切旅客自動車借上利用事業」につきましては、ほぼ計画どおりの利用となっております。

このように、さまざまな事業の推進を図るうえにおいては、全体的に考察すると、ほぼ計画どおりに実施し、地域福祉の推進に努めることができましたが、年々共同募金の落ち込みや馬込斎場売店売上げの減収など財源確保には苦慮しているところではありますが、引き続き財源の確保に向けてさらなる検討を重ねてまいります。

重点事項	施策の内容	成果
1) 社会福祉協議会の基盤強化及び自主財源の確保	(1)個人会員・賛助会員等の増を図る	<p>会員増強のため、「ふなばし福祉」にPR記事を掲載するとともに、町会・自治会長宛に賛助会員の協力依頼を行った。</p> <p>また、特別・団体・法人会員についても協力依頼を行い、会費総額は、前年度より増額となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・賛助会員 24,977,967 円 ・特別会員 538,300 円 ・団体会員 1,025,000 円 ・法人会員 1,330,000 円 <p>合 計 27,871,267 円</p> <p>※前年度より 409,632 円増</p>
	(2)収益事業の継続運営	<p>馬込斎場売店運営については従来の形態が変わってきている（家族葬の増）、売店運営にも影響していることから、人員を削減し対応を図った。</p> <p>自動販売機（飲料水）設置については、新規に工事現場にも1か所設置し増収を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動販売機設置台数 70台
	(3)自主事業による財源確保	<p>入れ歯回収ボックスを市役所や老人福祉センター、地区社協に設置し、財源確保に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入れ歯回収ボックス設置 29 か所（市役所・各地区社協など） ・回収個数 161 個 ・還元金 59,597 円

重点事項	施策の内容	成果
2) 地区社会福祉協議会の充実強化を図るための支援	(1)ミニデイサービス事業の充実 (24地区で実施)	<p>全ての地区社協で実施され、地域福祉の向上が図られたが、実施会場の確保や若年ボランティアの確保が難しいが、多くのボランティアの協力により実施され、地域福祉の推進が図られた。</p> <p>・実施回数 605回 ※前年度実施回数600回</p>
	(2)ふれあい・いきいきサロン事業の充実 (24地区実施)	<p>公共施設（公民館等）や町会・自治会館を利用し、高齢者及び障がい者、子供たちが気軽に参加し、世代を越えた仲間づくりの場として実施することにより地域福祉の向上が図られた。</p> <p>・実施回数 667回 ※前年度実施回数629回</p>
	(3)子育てサロン事業の推進 (24地区実施)	<p>地域内で子育てについて情報交換や相談をする場が少ない親子を対象として情報交換や育児相談、母親（親子）同士が交流できる場を提供し、地域福祉の向上が図られた。</p> <p>・実施回数 468回 ※前年度実施回数471回</p>
	(4)ボランティア育成事業の充実 (24地区実施)	<p>新たなボランティア登録者や継続したボランティア活動を行うための研修や講座を開催する中で、講師の派遣調整に協力を行った。</p> <p>・実施回数 155回 ※前年度実施回数152回</p>

重点事項	施策の内容	成果
	(5)地区社協広報紙の発行 (24地区で発行)	地区社協では、年間1～6回 広報紙を全戸配布し、情報の提 供を行った。
	(6)地域福祉まつりの充実 (24地区で開催)	多くの参加者を得て各種団 体との連携、交流が図られたほ か、啓発活動にも努め、福祉へ の関心を高めるとともに実施 内容の相談に努めた。 ・実施回数 34回
	(7)福祉相談事業の推進 (24地区で開催)	地域住民の身近にあり、気軽 に相談ができる地区社協に福 祉相談窓口を地区社協に開設 し、地域の福祉機関・団体や行 政と連携しながら、福祉相談の 解決に努めた。 ・相談件数 3,634件 児童相談 375件 介護相談 282件 障がい児者相談 44件 医療相談 164件 隣人関係相談 157件 家族関係相談 84件 その他 2,528件
	(8)自主事業の推進 湊町地区社協	地域における仲間づくり・生 きがいづくりに寄与する事業 及び住民相互のふれあい・交流 を目的とした事業を下記の地 区社協が市補助金を活用し実 施され、地域福祉の推進が図ら れた。 「それいゆ大学」 地域で助けあっていく知恵 や安全に生活していく知恵を 学ぶことが目的。 ・実施回数 10回 「パソコン教室」 ・実施回数 20回

重点事項	施策の内容	成果
	<p>夏見地区社協</p> <p>高根台地区社協</p> <p>二和地区社協</p> <p>三咲地区社協</p> <p>松が丘地区社協</p>	<p>「のど自慢大会」 カラオケを楽しみながら異世代間交流が目的。 ・実施回数 1回</p> <p>「スポーツ交歓会」 軽スポーツを楽しみながら異世代間交流が目的。 ・実施回数 1回</p> <p>「多目的サロン」 健康づくりや生きがいをづくりの場及び防災の問題なども組み入れ、住民意識を高めることが目的。 ・実施回数 92回</p> <p>「はつらつ健康教室」 健康体操を通じ、「いつまでも健康ではつらつと過ごせるように」が目的。 ・実施回数 12回</p> <p>「いきいき健康事業」 地域内の中高年の仲間づくりと生きがいをづくり、新たな人材確保が目的。 ・実施回数 27回</p> <p>「街中清掃」 地域内の中学生及びその関係者と一緒にゴミ拾いを行うことにより、生徒と地域住民の交流を図ることが目的。 ・実施回数 1回</p> <p>「グラウンドゴルフ大会」 地域の高齢者が元気で活動でき、交流を図ることが目的。 ・実施回数 1回</p>

重点事項	施策の内容	成果
	<p>坪井地区社協</p> <p>塚田地区社協</p> <p>高根・金杉地区社協</p> <p>習志野台地区社協</p> <p>本中山地区社協</p>	<p>「親子塾」 若い世代の家族へ社協事業の参加を促す為、小学校の親子を対象とした工作教室などを開催し、互いに支え合う街づくりを目指し、地域の活性化を図ることが目的。 ・実施回数 5回</p> <p>「スタッフ交流会～ボランティアの交流～」 ボランティアが継続して活動できるよう、情報交換などで交流を図ることが目的。 ・実施回数 1回</p> <p>「世代間融合クリスマスコンサート」 クリスマスイベントを通じて世代間交流が目的。 ・実施回数 1回</p> <p>「ペタンク大会」 軽スポーツを通じての健康づくりが目的。 ・実施回数 1回</p> <p>「ゆる体操」 健康体操を通じ「いつまでも健康ではつらつと過ごせるように」が目的。 ・実施回数 23回</p> <p>「異世代間交流」 歌やゲームを通じて小学生と高齢者の交流が目的。 ・実施回数 1回</p>

重点事項	施策の内容	成果
	前原地区社協	「健康体操」 血圧測定などを行い健康づくりが目的 ・実施回数 10回
	(9)活動拠点整備事業の推進	下記の地区社協が各事業を行うにあたり、市補助金を活用し、安定した会場確保ができ、地域福祉の推進が図れた。
	湊町地区社協	『それいゆ』 ・実施回数 66回
	高根台地区社協	『楽し荘』 ・実施回数 263回
	三咲地区社協	町会会館 ・実施回数 12回
	三田習地区社協	市民センター ・実施回数 39回
	二宮・飯山満地区社協	町会会館 ・実施回数 8回
	八木が谷地区社協	町会会館 ・実施回数 42回
	高根・金杉地区社協	町会会館 ・実施回数 20回
	(10)ひとり暮らし高齢者等地域交流促進事業の推進	下記の地区社協で市補助金を活用し、実施されひとり暮らし及び日中一人になる高齢者で引きこもりがちな方・介護保険認定外（自立判定者）の方の地域交流、閉じこもり防止に努

重点事項	施策の内容	成果
	湊町地区社協 海神地区社協 高根・金杉地区社協 三咲地区社協	デイ銭湯 実施回数 24回 デイ銭湯 実施回数 8回 移動ミニデイ 実施回数 1回 移動ミニデイ 実施回数 1回
	(11)地区社協事務局員の充実強化	多様化する福祉ニーズに対応 できるようブロックごと等で事務局員の研修を実施するとともに、資質の向上に努め、また、市社協と地区社協の事務調整の連携に努めた。
	(12)地区社協の育成及び支援	3地区社協（湊町・塚田・豊富）は独自のホームページなどを開設し、情報提供に努めた。 また、主要5事業の拡充及び自主事業の充実強化に努めた。
3) 地域福祉活動計画の推進	(1)第2次活動計画の促進	第2次活動計画の推進を図るため「平成26年度第2次活動計画進捗状況報告書」を作成
	(2)第3次活動計画の策定	第2次活動計画の活動計画が今年度で終了するにあたり、地域福祉を計画的・継続的に進めるため、それに続く計画として「第3次活動計画」を策定した。 ・策定委員会の開催 9回 ・住民説明会の開催 3会場 ・パブリックコメントの実施

重点事項	施策の内容	成果
4) 安心登録カード事業の促進	(1)安心登録カード事業の推進	<p>災害時及び緊急時における要援護者の救援・支援を図るため、「安心登録カード事業」について24地区社協全てで実施している。</p> <p>引続き、行政（市）が進めている「災害時要援護者避難支援事業」との連携を図るため、事務支援の整備に努める。</p> <p>◆安心登録カード事業登録者数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登録者数 18,111人 ・内訳（男:7,061人・女:11,050人） <p>◆電話等見守り活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施地区社協 16地区 （高齢者福祉課対象2地区含む） ・延見守り回数14,905回 ・延見守り対象者数 5,059人 ・延見守り活動者数 371人
5) ボランティアセンター事業の充実	(1)ボランティアセンターの運営	<p>ボランティアの相談及び登録業務を地区社協等の協力を得て行った。</p> <p>また、専門的なボランティア講座等も開催し、知識や技術の向上に努めるとともに、入門講座も開催し、新たなボランティアの発掘や活動の意識を深めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規ボランティア依頼 211件 ・ボランティア登録人数 4,268人 <p>【内訳】 グループ 206 4,020人 個人 248人</p>

重点事項	施策の内容	成果
		<p>◆東日本大震災被災者支援の災害ボランティア登録数 75人</p> <p>【内訳】</p> <p>市内 66人</p> <p>市外 9人</p> <p>県外 0人</p>
	(2)ボランティア団体との連絡	<p>ボランティア連絡協議会が行う研修会や隔月行っている運営委員会に出席し、連絡調整に努めた。</p> <p>また、各グループの活動に対し、助言及び協力支援に努めた。</p>
	(3)ボランティア研修・講座の開催	<p>研修及び講座等を主催・共催し、ボランティアの心得や知識・技術を身につけるため、研修内容の充実を図り、資質の向上に努めた。</p> <p>また、ボランティア同士の情報交換の場として交流会も開催し、支援に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生ボランティア養成講座 22人 ・シニアボランティア研修会 119人 ・ボランティア交流会 「障がい者と集う」 137人 ・ふれあい交流会 「ふる里学舎」 36人 ・地域に飛び出せ！！ ふなばし夏のボランティア体験 202人

重点事項	施策の内容	成果
	<p>(4)福祉教育の推進</p> <p>※市社協指定校 小学校 54校 中学校 27校 高校 15校</p>	<p>推進指定校としての取り組みでは、学校での体験学習に対する車椅子及び高齢者擬似体験に伴う指導や用具の貸出しに努めるとともに、職員及びボランティアを派遣し、体験学習の支援に努めた。</p>
	<p>(5)福祉用具等の貸し出し</p>	<p>車椅子の必要な方や地域福祉まつり、ボランティア入門講座や研修会、学校の体験学習に貸出しを行い、福祉の推進に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車椅子体験及び貸出件数 15件：117台 ・高齢者擬似体験用具貸出件数 16件：110箱) ・アイマスクの貸出件数 12件：597個 ・点字板の貸出件数 1件：10枚 ・白杖貸出件数 1件：6本 ・車椅子貸出件数 66件
<p>6) 災害時ボランティア活動等の検討</p>	<p>(1)災害時ボランティア活動等の検討</p>	<p>災害時ボランティアセンター立ち上げ訓練をすることで、関係機関・団体と情報の共有を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・立ち上げ訓練の実施 開催日：H27年7月4日(土) 場 所：船橋市総合教育センター・視聴覚センター 参加者数： 74人 ・シェイクアウト訓練の実施 開催日：H27年8月31日 参加者数：18人

重点事項	施策の内容	成果
<p>7) ふなばし高齢者等権利擁護センター事業の推進</p>	<p>(1)市民に対する制度の周知徹底と利用促進</p> <p>※主な相談内容(相続・成年後見、遺言)</p>	<p>判断能力が十分でない高齢者や障がいのある方が自立した地域生活を送れるよう、生活支援員(15人)の協力及び関係機関との調整を図り支援に努めた。</p> <p>また、成年後見制度の周知と市民後見人の養成を目的として「初心者のための市民後見人養成講座」を行った。</p> <p>開催日：H28年2月6日・20日 場所：中央公民館第3・8集会室 修了者：25人 (申込者：39人)</p> <p>【権利擁護センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・権利擁護相談延件数 145件 ・全体の契約件数 60件 ・新規契約件数 23件 ・解約件数 12件 ・高齢者法律相談受付件数 35件
<p>8) 低所得対策事業の促進</p>	<p>(1)低所得対策事業として、福祉銀行・生活福祉資金の貸付</p>	<p>福祉銀行の貸付及び償還については、生活支援課との連携強化に努めた。また、滞納者については督促状を送り、償還率アップに努めた。</p> <p>また、生活福祉資金については、難しいケースへの貸付では、民生児童委員と連携を図るとともに償還指導についても民生児童委員の協力を得、強化を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉銀行貸付 相談件数 3,033件 金銭交付 69件 20,370円

重点事項	施策の内容	成果
		<p>金銭貸付 826件 9,393,200円</p> <p>償還金 8,865,990円</p> <p>・生活福祉資金貸付 相談件数 1,806件 教育支援資金 51件 63,936,900円 福祉資金福祉費 35件 10,735,600円 緊急小口資金 31件 2,868,300円 総合支援資金 1件 360,000円 臨時特例つなぎ資金 0件 0円 不動産担保型生活資金 0件 0円 要保護世帯向け不動産担保型 生活資金 6件 51,313,400円 生活復興支援資金 0件 0円</p> <p>※生活福祉資金の償還は県社協が事務処理</p>
9) 老人福祉センター管理運営の推進	(1)老人福祉センターの運営充実	<p>老人福祉センターを利用することにより、高齢者の生きがい健康づくり及び教養の向上が図られるよう各種相談活動やサークル活動、クラブ活動などの促進に努めた。</p> <p>・中央人福祉センター 利用者累計(61,708人) 1日平均利用者数(206人)</p> <p>・南老人福祉センター 利用者累計(60,996人) 1日平均利用者数(207人)</p>

重点事項	施策の内容	成果
10) 高齢者・障がい者などの地域生活の支援	(1)在宅福祉サービス事業の促進	<p>高齢者や障がい者の方々の通院、施設への入所、ミニデイサービス事業への送迎に貸出を行い、在宅福祉の向上が図られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リフトカー貸出延利用者数 29人 <p>在宅福祉の一環として家事援助活動が多くボランティアの協力によって実施された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民参加型在宅福祉活動（たすけあいの会） (実践把握団体数 36団体) ・お休み処第1号 「ホッところ咲が丘」 来場者 延3, 466人 1日平均 16人 ボランティア数 18人 ・お休み処第3号 「ほっとスクエア夏見」 来場者 延3, 986人 1日平均 18人 ボランティア数 22人
	(2)地域包括ケアシステムの構築	<p>高齢者になっても住み慣れた地域で安心して暮らせることを目指し、生活支援を促進するため地域での支え合いの体制を作るため、生活支援コーディネーターを各地区社協に配置した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配置地区社協 5地区

重点事項	施策の内容	成果
1 1) 福祉情報の提供	(1)ふなばし福祉の充実	<p>広報紙を全戸配布することにより地域住民に福祉に対する理解が得られるよう年3回発行し、情報提供に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発行号数 84号から86号 発行部数 594,000部 ・インターネットを活用した情報提供に努めた。 ・ホームページの活用 アクセス件数 39,946件
1 2) 市受託事業の効率的運営とサービスの向上	(1)福祉リフトカーの運行促進	<p>障がい者やねたきり高齢者の通院など、2台のリフトカーにより利用者のサービスに努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運行回数 339回 ・利用者数 143人
	(2)米寿記念写真事業の促進	<p>写真ボランティアの協力を得て、米寿記念写真を撮影した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・撮影者 56人 (該当者 1,663人) <p>※10月に市役所1階ロビーにて写真展を開催し、市民へのPRに努めた。</p>
	(3)老人クラブ自動車支援事業の促進 (福祉バスの運行)	<p>年間を通して多くの老人クラブに利用されており、特に安全運行に注意をし、老人クラブ会員の研修及び親睦のための支援に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運行回数 145回 ・利用者 延4,749人

重点事項	施策の内容	成果
13) 次代を担う青少年の健全育成事業の支援	(1)市内青少年の健全育成及び非行防止	<p>当会が設置する子どもの遊び場の点検を行い、事故防止に努めた。また、青少年の健全育成を図るため、少年少女団体連絡協議会や青少年関係団体等との連携を図り、事業に対する助成及び団体の育成に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの遊び場 13ヶ所 ・おもちゃの図書館の運営 東図書館 利用者延 184人 西図書館 利用者延 69人
14) 社会福祉協議会の運営・事業の透明化	(1)情報の開示	<p>事務関係資料の整理整頓に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開示件数 2件
	(2)個人情報の安全管理	保有する個人情報の適正な管理を行い、安全確保に努めた
15) 福祉サービス利用者保護のための体制整備	(1)福祉サービスに対する苦情解決	<p>市民からの苦情に速やかな対応を図るため、第三者委員会を設置している。要望や苦情に対しては、速やかな対応に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・苦情・要望件数 7件 ・第三者委員会の開催 0回
16) 社会福祉事業振興貸付事業の促進	(1)高齢者、障害者施設及び保育施設の整備支援	<p>社会福祉事業振興資金は、施設の新設や増改築費として活用され、社会福祉法人や施設利用者にとっての利便が図られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・16年度～26年度までの貸付件数 10件 ・27年度 1件

重点事項	施策の内容	成果
17) 共同募金事業の推進	(1)共同募金会船橋市支会事業の実施及び地域配分の効果的活用	<p>民間社会福祉事業を支援する役割があることから、市民に信頼と理解を得るため、広報紙でのPR及び街頭募金の実施に努めた。</p> <p>なお、「支え合いといたわり合いの地域づくり」を目指し、効果的な活用を努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配分額 16,077,000円 ※前年比556,000円減
	(2)歳末たすけあい募金の適正配分	<p>配分委員会により適正配分を図ることにより、要保護世帯などに対し、福祉の増進に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配分額 22,192,097円 ※前年比902,454円増
18) その他の事業	(1)「一般貸切旅客自動車借上バス」の運行	<p>多くの福祉関係団体等が視察研修ができるよう利用促進及び安全運転に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運行回数 131回 (内リフト付きバス6回) ・利用者 延4,428人
	(2)老人クラブ自動車支援事業の促進(バス借上げ料補助)	<p>老人クラブ会員の研修などのためのバス借上げ支援に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運行回数 46回 ・利用者 延1,397人
	(3)各種団体との連携強化	<p>各種団体及び福祉施設との連携強化により、地域福祉の推進が図られた。</p>